



シンフォニア通信 第7号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホームシンフォニア

～ごあいさつ～

シンフォニアの前の畑に、保育園の子どもたちがサツマイモを植えています。葉だけが大きく育ち、芋は未だ小さいままでもう少し農作業のワザが必要なようですが、自然に親しみ、利用者の皆さんとのふれあいの機会にもなっています。ところで「土は天からの言葉」(料理家・辰巳芳子)というように、土が良ければ、太陽の光と土で美味しくてよい野菜ができ、いのちを育みます。雄大な富士山の姿を背景に、子どもたちが畑で土とふれあい、そこで育つ様々な野菜を眺めるのもいいものです。

映画「天のしずく」の主人公、料理家・辰巳芳子が、病床の父に、天の恵みである食材へ愛情を込めて作り続けた「いのちのスープ」づくりが、今、全国で多くの人に、食を通しての「いのちと愛」を考え、実践する動きとして静かに広がっています。森、海、田畑などの日本の風土が生み出す食の恵み、素材をいじめず、素材が喜ぶようなスープづくりのように、食を大切にしたい施設にすることを当法人の課題として取り組みたいと思います。

いい土がいい作物をつくるように、いい人間関係が人を育てます。10月30日、保育園ひよこハウス豊田とひよこハウス多摩平の子どもたちがハロウィンパーティの仮装をしながら、シンフォニアの利用者の皆さんと一緒に楽しみました。踊りや歌でおじいちゃんおばあちゃんに喜んでもらい、お菓子のプレゼントをもらい、「ありがとうございました。また来ます」と嬉しそうに戻ってきました。

これからもいろいろな人との交流や共同で、潤いのある生活とそれぞれの人生に響きあう関係を大切にしていきたい、それがこの施設のめざすものです。

社会福祉法人 大家族
理事長 佐々木 榮一

～イベント紹介～

10月も色々なイベントが開催されました。一部ご紹介致します。



10月29、30日の2日間
ひよこハウスの園児たちがシンフォ
ニアにハロウィンの仮装姿でやって
きました。

「アブラハムの子」などの歌と踊りを
元気に披露され、その後利用者様より
園児たちにお菓子を手渡されました。
「ありがとう」とお礼を言われ、利用
者様も笑顔でお話しされていました。

↓ 入所者様にラムネやマシュマロが入った
お菓子の袋を手渡され喜ぶ園児達



↑ 利用者様とお話しや握手を交わされました。



◇ うたごえ喫茶 ◇

月に1度開催されるうたごえ喫茶は、賑やかな
演奏に合わせて皆様に親しみある曲を歌います。
利用者様は毎回楽しみにされています。



◇ 棒体操 ◇

貫井先生の棒体操は毎週土曜日の14時半～行
っています。棒体操で体を動かし、この日は「も
みじ」など童謡を一緒に歌いました。

